

INDEX.....

学力の三要素

.....

この 4 月に入学するための入試も大詰めとなりました。受験する人はくれぐれも体調を整え、積み上げてきた力を出し切りましょう。

一方、来年度以降に受験をひかえている高校生諸君は日々の勉強に励みながら、自分がめざす進路について考え始めているのではないのでしょうか。志望する大学を決める場合は、まずその大学と学部や学科、コースのアドミッション・ポリシーを参考にします（本メルマガ 2017 vol. 2 を参照）。

<http://daigaku.jc.jp/sb.php?bn=0000002428&page=1&max=45&u=00028>

本学のアドミッション・ポリシーでは、入学生に求める能力と資質を、これまでの学習の成果として「学力の三要素」に基づき、具体的に明示しています。そして、受験生がアドミッション・ポリシーで示される「学力の三要素」を満たすか否かは、入試で評価します。

今回は、その「学力の三要素」が入試でどのように用いられているのかについて述べます。また、「学力の三要素」の由来にも触れてみます。

本学の平成 30 年度学生募集要項（一般入試）を例にとってみます：

<http://dl2.dl.multidevice-disc.com/dl/10908-cd34423987f93e95cb219ca4601e44fc>

各学部学科等のアドミッション・ポリシーは 1～6 ページに記載されています。入学生に求める能力と資質の内容は、[知識・技能]、[思考力・判断力・表現力]、[主体性、多様性、協働性]という「学力の三要素」の要素ごとに記載されています。

「学力の三要素」は実際の入試でどのように評価されるのでしょうか？25 ページの人文社会科学部人文社会科学科を例にとります。人文科学コースにおける選抜方法と評価する能力の対応表には、前期と後期の選抜方法が書かれています。どちらもセンター試験を課し、[知識・技能]、[思考力・判断力・表現力]の順に重点評価します。

個別学力検査で 2 つを比べると、前期では科目試験を課して[知識・技能]と[思考力・判断力・表現力]とともに最重点評価するのに対し、後期では面接によって[思考力・判断力・表現力]を最重点に評価し、併せて[知識・技能]と[主体性、多様性、協働性]も重点評価します。このように、入試種別によって「学力の三要素」を評価する方法と基準が違って

ることに留意して下さい。

一般入試だけではなく、推薦入試と A0 入試においても、「学力の三要素」を評価する方法と基準について、それぞれ比較・確認して下さい。

ところで、みなさんはそもそも小学校、中学校、高等学校を通じて「学力の三要素」を培ってきています。日本の教育のもっとも大きな目的は、「生きる力」を育むことです。変化の激しい社会に出ても幸せにしっかりと生きていくことができるように、[確かな学力]と[豊かな人間性]および[健康と体力]という「生きる力」を涵養する教育を受けてきました。

これらのうち、[確かな学力]の中身が「学力の三要素」へ結びついています。

「学力の三要素」を構成するそれぞれの要素は相互に関連して発達します。その関連関係は概ね以下になるだろうと考えます。

- ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度・資質[主体性・多様性・協働性]を養うために、また逆に、これを養ってこそ、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果をまとめて発表・表現する能力[思考力・判断力・表現力]を獲得・発揮する。
- ・さまざまな課題を発見・解決する過程で同時に、基礎となり、必須となる[知識・技能]を習得する。

このように、「学力の三要素」は実際には不可分なのです。

日々の学習や授業、課外活動などの適当な節目に、自分はどのような能力をどれくらい高めてきたのかどうか振り返ることで、いままで漠然としていた「学力の三要素」をもっとはっきりと意識できるかも知れませんね。

- ・高知大学の最新の様々な入試情報は下記の URL からご覧ください。

<http://nyusi.kochi-u.jp>

※次回のメルマガは3月23日（金）に配信予定です[毎月第2・4金曜日]。

.....

高知大学メールマガジン vol.23

編集発行：奥田 一雄（アドミッションセンター長）

.....